

第四章 行政主体のリユース施設の運営実態の詳細

4-1 はじめに

第四章では、各リユース施設に2013年11月から2013年12月にかけて行った予備アンケートの不明点、またより詳しい情報を得るために調査をする。

4-2 本章の目的

第四章の目的は、各リユース施設の詳細を把握することと運営指標に及ぼす要因分析をするためのデータを入手することである。

4-3 調査方法

2 施設へのヒアリング調査及び本アンケート調査によって目的を達成する。

4-4 ヒアリング調査

本アンケート調査作成にあたっての準備のため、また、現場の意見を把握するためにヒアリング調査を実施した。

4-4-1 ヒアリング調査の対象と実施時期

滋賀県内の2施設に対してそれぞれ担当者1名ずつに、2014年7月17日と2014年8月4日に行った。また、図4-1と図4-2は2014年7月17日に訪問したリユース施設の様子であり、図4-3と図4-4は2014年8月4日に訪問したリユース施設の様子である。



図4-1 2014年7月17日に訪問したリユース施設①



図 4-2 2014 年 7 月 17 日に訪問したリユース施設②



図 4-3 2014 年 8 月 4 日に訪問したリユース施設①



図 4-4 2014 年 8 月 4 日に訪問したリユース施設②

4-4-2 ヒアリング調査の調査結果

4-4-2-1 家電製品の取り扱いについて

家電製品を取り扱っている施設が極めて少ない理由について、故障の確認が難しいため、2 施設とも取り扱いを実施していないという回答を得た。外見はきれいであったとしても、機能不全が生じていれば、不良品を提供したことになり、トラブルの原因になるということであった。また、火災などの人的被害をもたらす原因になることも防止するため、取り扱いをしていないという回答もあった。

4-4-2-2 人気のリユース品および利用者が多い時期

新生活での移動を伴う利用が多い傾向にあるということが分かった。引っ越しに伴い不要になった物を持ち込む人も多ければ、新しく引っ越して来て、家具などを無料で手に入れたと思う人も多いようだ。人気のリユース品は同じ理由で、プラスチックの衣装ケースなどの持ち運びが簡単な物が好まれるということだった。タンスなどは持ち運びが不便なため、予想に反して残ることも多いようだ。

4-4-2-3 転売について

リユース事業の問題点のひとつに転売の問題がある。この点の防止策について質問したところ、ひとつの施設は懸念をしており、引き取りの際に配布している注意事項に明記していると回答があった。しかし、現状としては、利用者のモラルに一任している状況であった。一方で、もう一つの施設では、転売されても良いと考えているということであった。ゴミ減量につながるのであれば、転売については関係ないと考えている、さらに、リサイクルショップなどで引き取り不可であった物を持ち込むケースも多々あるため、そのような品物を引き取り後に販売するのは不可だと考えているとも話された。

4-4-2-4 リユース品の質について

ひとつの施設ではかなりこだわっているという話であった。不良品は提供したくないため、傷などが目立てば展示しないということだった。しかしながら、もう一方の施設では、機能として問題がなければ、展示するということがあった。クオリティについても施設ごとでこだわりがあり、様々であるということが分かった。

4-5 本アンケート調査

本アンケート調査票<付録参照>を作成し、廃棄物処理技術情報の 2011 年度の調査結果と予備アンケート調査を基に選定した 41 施設に、2014 年 7 月 30 日から 2014 年 8 月 19 日を回答期間として、本アンケート調査を実施した。

4-5-1 本アンケート調査の目的

予備アンケート及びヒアリング調査では明らかにできなかった事を把握すること、第五章以降での分析に使用するデータを取得すること。

4-5-2 本アンケート調査の対象

調査対象は、廃棄物処理技術情報の2011年度の調査結果から予備アンケート調査にて環境省への誤報告または既に廃止を確認した施設およびアンケート辞退の旨を申し出た施設を除いた41施設である。結果、31施設から返信があり、1施設については回答辞退であった。そのため、有効回答施設数は30施設であった。

4-5-3 本アンケート調査の内容

本アンケート調査内容は表4-1の通りである。

表4-1 本アンケート調査質問内容

項目区分	質問内容
A.基礎情報	施設利用者の利用範囲
	施設の運用開始年月及び廃棄物処理施設との関係
	施設利用者人数
	施設運営費
	リユース品収集方法及びリユース品量
	リユース施設の業務形態及び提供方法
B～E.提供方法別にリユース施設の詳細に関する質問	提供品目
	展示数及び引取数
	リユース品の値段及び価格決定方針
	リユース品の売上用途
	引き取られなかったリユース品の処理方法
F.その他	今後、この事業を継続するか否かとその理由
	利用者の意見把握をしているかと意見の内容
	施設運営上の課題

4-5-4 本アンケート調査の結果及び考察

4-5-4-1 来場者の居住範囲

来場者の居住の範囲について、表4-2に示す。半数の施設で市内在住を対象としていることが分かった。また、その他回答は全て行政組合を結成している構成町のみという回答であった。よって、その他についても市内在住と同等と考えれば、63%の施設が市内（エリア内）に限定していることが分かる。

表 4-2 来場者の居住範囲 (n=30)

	1.市内在住	2.市内の特定の範囲	3.市外も可	4.その他	計
n	15	2	9	4	30
パーセンテージ	50.0%	6.7%	30.0%	13.3%	100.0%

4-5-4-2 廃棄物処理施設に併設の有無と運用年数

廃棄物処理施設に併設の有無を表 4-3 に示す。廃棄物処理施設に併設は、約 6 割であった。

表 4-3 廃棄物処理施設に併設されているか (n=30)

	1.はい	2.いいえ	計
n	19	11	30
パーセンテージ	63.3%	36.7%	100.0%

また、2014 年までの平均運用年数は 13 年 (29 施設) であった。平均で運用年数が 10 年を超えているため、今後、施設のリニューアルや修繕の必要性が発生し、予算確保が困難になることも危惧される。

4-5-4-3 来場者数について

2013 年度の年間来場者数について、回答数、平均値、最大値、最小値、標準偏差をまたまたものを表 4-4 に示す。また、来場者数の分布について表 4-5 に示す。平均して年間 1 施設あたり約 2.6 万人が利用している状況である。また、持ち込みを目的とする来場者の方が引取りを目的とする来場者よりも多いことから、来場者数の増加には廃棄物処理施設と併設しているなどの因果関係がある可能性も推測できる。さらに、大半の施設で来場者数が 10000 人以上であることが分かった。

表 4-4 来場者数について

	全体数	持ち込みを目的	引取りを目的	両方を目的
回答数	25	4	11	1
平均	26436	11298	3837	1949
最大値	142539	41280	14886	1949
最小値	75	305	75	1949
標準偏差	35391	20003	4694	-

表 4-5 来場者数の分布 (n=25)

来場者数	回答数
$n \leq 1000$ 人	2
$1000 \text{ 人} < n \leq 10000$ 人	8
$10000 \text{ 人} < n$	15

4-5-4-4 施設運営費について

2013年度の平均施設運営費について、回答数、平均値、最大値、最小値、標準偏差をまとめたものを表4-6に示す。その他回答には「業務委託費用」が挙げられていた。また、施設運営費の分布を表4-7に示す。この結果より、年間1施設あたり約518万円の費用がリユース事業に使われていることが分かる。さらに、回答施設数は少ないものの、その費用発生段階としては、リユース品を展示する段階で主に発生しており、施設の確保及び維持管理、施設運営の人的費用などに多くの費用が必要となっていることが分かる。

表4-6 施設運営費について

	総計	リユース品を集めるためにかかる費用	リユース品を展示するためにかかる費用
回答数	23	3	9
平均	¥5,184,819	¥1,201,795	¥3,983,789
最大値	¥17,200,000	¥2,710,784	¥7,827,431
最小値	¥0	¥447,300	¥110,160
標準偏差	¥3,995,238	¥1,306,823	¥3,247,165
	リユース品を処理するためにかかる費用	その他	
回答数	0	5	
平均	-	¥4,563,170	
最大値	-	¥17,200,000	
最小値	-	¥440,000	
標準偏差	-	¥7,116,040	

表4-7 施設運営費の分布 (n=23)

費用	回答数
$c \leq ¥1,000,000$	5
$¥1,000,000 < c \leq ¥5,000,000$	6
$¥5,000,000 < c$	12

4-5-4-5 リユース品の総量について

2013年度のリユース品の総量について、回答数、平均値、最大値、最小値、標準偏差を表4-8に示す。1施設あたり年間約23トンのリユース品が展示され、約19トンのリユース品が利用者によって引き取られ、リユースされていることが分かる。

表 4-8 リユース品の総量

項目	リユース施設に集まる全体量		展示している量		展示する前に処理するリユース品の量	
	量(kg/年)	個数(個/年)	量(kg/年)	個数(個/年)	量(kg/年)	個数(個/年)
回答数	1	15	4	22	3	15
平均	772700	5166	23486	1936.9	7576	253.8
最大値	772700	37481	58000	11599	11550	1201
最小値	772700	42	1040	42	0	0
標準偏差	-	9545.4	24809.8	2597.7	6563.6	398.8
項目	市民などに引き取られる量		展示後処理する量			
	量(kg/年)	個数(個/年)	量(kg/年)	個数(個/年)		
回答数	7	27	2	16		
平均	19690.9	7536.4	260	145.9		
最大値	35048.63	52527	520	697		
最小値	1040	40	0	0		
標準偏差	11639.5	13837.6	367.7	239.2		

4-5-4-6 リユース品の提供方法

リユース品の提供方法について、表 4-9 に示す。なお、回答率の合計が 100%を超えるのは、複数の形態でリユース品を提供している施設があるからである。

「手を加えていて有料」な施設が、43.3%で最も多くの施設で取られている形態であることが分かる。また、「手を加えているが無料」である施設も 36.7%で次いでいるため、手を加えてから提供することが一般的であるのだと分かる。

表 4-9 リユース品の提供方法(n=30)

	手を加えていて有料	手を加えていないが有料
個数	13	4
回答率	43.3%	13.3%
	手を加えているが無料	手を加えていなくて無料
個数	11	8
回答率	36.7%	26.7%

4-5-4-7 手を加えていて有料であるリユース施設について

手を加えていて有料で提供されるリユース品を表 4-10 に示す。また、その展示数、引取数、引取率の回答数と平均値、最大値、最小値、標準偏差を表 4-11 に、価格の回答数と平均値、最大値、最小値、標準偏差を表 4-12 に示す。

表 4-10 より、手を加えていて有料で提供している施設のうち 92.3%の施設で家具が展示されていることが分かる。また、自転車についても 75%を超えており、多くの施設で採用されていることが分かる。

また、表 4-11、表 4-12 より家具は手を加えていて有料である場合 84.5%の引き取り率があり、平均価格は 1740 円であった。自転車については、97.2%の引き取り率があり、平均価格は 4640 円であった。

表 4-10 手を加えていて有料で提供されるリユース品目 (n=13)

	家具	調理・キッチン用品	自転車	衣類	スポーツ・アウトドア用品	楽器
回答数	12	1	10	1	2	1
割合	92.3%	7.7%	76.9%	7.7%	15.4%	7.7%
	玩具	図書	ベビー用品	家電製品	日用品	文房具
回答数	1	0	3	0	1	1
割合	7.7%	0.0%	23.1%	0.0%	7.7%	7.7%

表 4-11 手を加えていて有料で提供されるリユース品の展示数,引取数,引取率

	1.家具			3.自転車		
	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率
回答数	8	9	8	7	8	7
平均値	679	669	84.5%	194	183	97.2%
最大値	1531	1526	100%	418	410	100%
最小値	180	139	53%	60	59	85%
標準偏差	426.5	470.8	17%	151.8	141.5	5%

※家具, 自転車以外の品目については不明ということであった

表 4-12 手を加えていて有料で提供されるリユース品の価格

	1.家具			2.調理・キッチン用品			3.自転車			4.衣類		
	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格
回答数	11	11	10	1	1	0	8	8	8	1	1	0
平均値	¥336	¥9,845	¥1,740	¥10	¥300	-	¥2,913	¥7,000	¥4,640	¥100	¥500	-
最大値	¥500	¥38,300	¥3,688	¥10	¥300	-	¥6,500	¥15,000	¥8,300	¥100	¥500	-
最小値	¥100	¥1,000	¥500	¥10	¥300	-	¥500	¥2,000	¥1,500	¥100	¥500	-
標準偏差	¥169	¥10,966	¥892	-	-	-	¥1,778	¥4,009	¥2,407	-	-	-
	5.スポーツ・アウトドア用品			6.楽器			7.玩具			9.ベビー用品		
	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格
回答数	3	3	2	1	1	1	1	1	0	3	3	2
平均値	¥70	¥1,100	¥300	¥100	¥1,000	¥500	¥10	¥300	-	¥133	¥767	¥500
最大値	¥100	¥2,000	¥500	¥100	¥1,000	¥500	¥10	¥300	-	¥200	¥1,000	¥500
最小値	¥10	¥300	¥100	¥100	¥1,000	¥500	¥10	¥300	-	¥100	¥300	¥500
標準偏差	¥52	¥854	¥283	-	-	-	-	-	-	¥58	¥404	¥0
	11.日用品			12.文房具								
	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格						
回答数	2	2	1	1	1	0						
平均値	¥55	¥750	¥300	¥50	¥100	-						
最大値	¥100	¥1,000	¥300	¥50	¥100	-						
最小値	¥10	¥500	¥300	¥50	¥100	-						
標準偏差	¥64	¥354	-	-	-	-						

4-5-4-8 手を加えていないが有料であるリユース施設について

手を加えていないが有料で提供されるリユース品を表 4-13 に示す。また, その展示数, 引取数, 引取率の回答数と平均値, 最大値, 最小値, 標準偏差を表 4-14 に, 価格の回答数と平均値, 最大値, 最小値, 標準偏差を表 4-15 に示す。

表 4-13 より, 手を加えていないが有料で提供しているリユース施設では, 日用品, 調理・キッチン用品が主流であることが分かる。

また, これらの平均価格について表 4-15 より, 日用品が 225 円で, 調理・キッチン用品については, 196 円であることが分かる。

表 4-13 手を加えていないが有料で提供されるリユース品目 (n=4)

	家具	調理・キッチン用品	自転車	衣類	スポーツ・アウトドア用品	楽器
回答数	1	3	1	2	2	2
割合	25.0%	75.0%	25.0%	50.0%	50.0%	50.0%
	玩具	図書	ベビー用品	家電製品	日用品	文房具
回答数	2	2	1	0	4	2
割合	50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	100.0%	50.0%

表 4-14 手を加えていないが有料で提供されるリユース品の展示数,引取数,引取率

	1.家具			2.調理・キッチン用品			3.自転車			4.衣類		
	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率
回答数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0
平均値	49	49	100.0%	757	733	96.8%	7	7	1	-	19840	-
最大値	49	49	100.0%	757	733	96.8%	7	7	1	-	19840	-
最小値	49	49	100.0%	757	733	96.8%	7	7	1	-	19840	-
標準偏差	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6.楽器			8.図書			11.日用品					
	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率			
回答数	1	1	0	0	1	0	2	2	0			
平均値	15	15	-	-	8558	-	254.5	246.5	-			
最大値	15	15	-	-	-	-	490	474	-			
最小値	15	15	-	-	-	-	19	19	-			
標準偏差	-	-	-	-	-	-	333.0	321.7	-			

表 4-15 手を加えていないが有料で提供されるリユース品の価格

	1.家具			2.調理・キッチン用品			3.自転車			4.衣類		
	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格
回答数	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1
平均値	¥100	¥1,500	¥402	¥105	¥750	¥196	¥3,000	¥3,000	¥3,000	¥50	¥50	¥50
最大値	¥100	¥1,500	¥402	¥200	¥1,000	¥300	¥3,000	¥3,000	¥3,000	¥50	¥50	¥50
最小値	¥100	¥1,500	¥402	¥10	¥500	¥92	¥3,000	¥3,000	¥3,000	¥50	¥50	¥50
標準偏差	-	-	-	¥134	¥354	¥147	-	-	-	-	-	-
	5.スポーツ・アウトドア用品			6.楽器			7.玩具			8.図書		
	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格
回答数	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1
平均値	¥10	¥1,000	¥92	¥105	¥750	¥196	¥10	¥1,000	¥92	¥10	¥10	¥10
最大値	¥10	¥1,000	¥92	¥200	¥1,000	¥300	¥10	¥1,000	¥92	¥10	¥10	¥10
最小値	¥10	¥1,000	¥92	¥10	¥500	¥92	¥10	¥1,000	¥92	¥10	¥10	¥10
標準偏差	-	-	-	¥134	¥354	¥147	-	-	-	-	-	-
	9.ベビー用品			11.日用品			12.文房具					
	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格	値段の下限	値段の上限	平均価格			
回答数	1	1	1	3	3	3	1	1	1			
平均値	¥10	¥1,000	¥92	¥103	¥1,167	¥225	¥10	¥1,000	¥92			
最大値	¥10	¥1,000	¥92	¥200	¥2,000	¥300	¥10	¥1,000	¥92			
最小値	¥10	¥1,000	¥92	¥10	¥500	¥92	¥10	¥1,000	¥92			
標準偏差	-	-	-	¥95	¥764	¥116	-	-	-			

4-5-4-9 有料での提供の際の価格決定と資格について

有料で販売時の価格決定方法を表 4-16 に、資格の必要性を表 4-17 に示す。

表 4-16 によると、一律性で決めている施設もあれば、市場価格などを参考にして決めている施設も存在する。また、オークション制度などで利用者によって決定される方式を取っている施設も存在した。

また、表 4-17 から、有料での提供に関して、資格は必要でないと認識している施設が大部分であることが分かった。なお、「必要」と回答した 2 施設は、どちらも自転車提供時の自転車整備士が必要との回答であった。

表 4-16 有料で販売時の価格決定方法

回答	筆者による分類	
小型家具類は一律500円。中型家具類は一律1000円。大型家具は最も高い金額で申込をした人に販売。	施設で決定	一律性
一律3,000円としている(筆者注: 自転車のみ取り扱い)		
同品目の前年度価格を参考にして、決定している。		何かを参考している
市場価格とリユース品であることを加味して決定している。		
材質、傷などの有無・大きさ、人気度など		
出来るだけ廉価での設定を基本にしているが、極端な低価格の設定は避けている。		
新品製品の市価の約1割を目安としている。		
作成したリユース品の作成単価を基準に、当該リユース品の体積、形状、出来栄等を総合的に判断し、頒布価格を決定している。		
市場価格の1/8程度、また上限10000円を超えない程度としている。		
シルバー人材センターが決定している。概ね市価の50%程度		
委託しているシルバー人材センターの方に、市場価格を踏まえ決定していただいている。		
出品者が決めている	利用者が決定	
入札方式		
入札方式で販売しているため、入札者の落札金額		

表 4-17 有料販売時における資格の必要性

	必要	不要
n	2	14
割合	12.5%	87.5%

4-5-4-10 手を加えているが無料であるリユース施設について

手を加えているが無料で提供されるリユース品を表 4-18 に示す。また、その展示数、引取数、引取率の回答数と平均値，最大値，最小値，標準偏差を表 4-19 に示す。

表 4-18 より、手を加えているが無料で提供している施設の全ての施設で家具を提供していることが分かる。また、自転車についても 81.8%と高い割合を示している。また、表 4-19 より、家具の引き取り率が 94.5%，自転車が 95.7%であることが分かる。

表 4-18 手を加えているが無料で提供されるリユース品目 (n=11)

	家具	調理・キッチン用品	自転車	衣類	スポーツ・アウトドア用品	楽器
回答数	11	5	9	6	6	5
割合	100.0%	45.5%	81.8%	54.5%	54.5%	45.5%
	玩具	図書	ベビー用品	家電製品	日用品	文房具
回答数	6	7	6	5	3	3
割合	54.5%	63.6%	54.5%	45.5%	27.3%	27.3%

表 4-19 手を加えているが無料で提供されるリユース品の展示数,引取数,引取率

	1.家具			2.調理・キッチン用品			3.自転車			4.衣類		
	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率
回答数	6	6	5	2	2	2	5	4	4	2	6	2
平均値	540	340	94.5%	547	495	95.2%	60	59	95.7%	4,802	12,608	91.2%
最大値	1117	895	100%	1089	984	100%	176	146	100%	6,337	26,768	100%
最小値	33	33	82%	5	5	90%	17	17	83%	3,267	2,707	83%
標準偏差	448	348	8%	767	692	7%	66	60	9%	2,171	8,262	12%
	5.スポーツ・アウトドア用品			6.楽器			7.玩具			8.図書		
	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率
回答数	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	6	2
平均値	97	14	100%	15	15	100%	58	58	100%	1308	6284	94%
最大値	179	15	200%	15	15	100%	80	80	100%	1476	15241	96%
最小値	14	16	300%	15	15	100%	36	36	100%	1140	1092	92%
標準偏差	117	-	-	-	-	-	31.1	31.1	0%	238	5300	3%
	9.ベビー用品			10.家電製品								
	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率						
回答数	2	2	1	1	2	1						
平均値	43	4560	100%	156	137	100%						
最大値	52	9087	100%	156	156	100%						
最小値	33	33	100%	156	117	100%						
標準偏差	13.4	6402.1	-	-	27.6	-						

4-5-4-11 手を加えていなくて無料であるリユース施設について

手を加えていなくて無料で提供されるリユース品を表 4-20 に示す。また、その展示数,引取数,引取率の回答数と平均値,最大値,最小値,標準偏差を表 4-21 に示す。

表 4-20 より,家具,調理・キッチン用品,図書は,手を加えていなくて無料で提供している施設の半数の施設で提供していることが分かる。表 4-21 より,平均引き取り率は,家具が 95.2%,調理・キッチン用品は 97%,図書が 72%であることが分かる。

表 4-20 手を加えていなくて無料で提供されるリユース品目 (n=8)

	家具	調理・キッチン用品	自転車	衣類	スポーツ・アウトドア用品	楽器
回答数	4	4	1	1	3	2
割合	50.0%	50.0%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%
	玩具	図書	ベビー用品	家電製品	日用品	文房具
回答数	0	4	3	0	2	2
割合	0.0%	50.0%	37.5%	0.0%	25.0%	25.0%

表 4-21 手を加えていなくて無料で提供されるリユース品の展示数,引取数,引取率

	1.家具			2.調理・キッチン用品			3.自転車			4.衣類		
	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率
回答数	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
平均値	42	67	95.2%	330	320	97.0%	61	61	100.0%	600	544	90.7%
最大値	42	93	95.2%	330	320	97.0%	61	61	100.0%	600	544	90.7%
最小値	42	40	95.2%	330	320	97.0%	61	61	100.0%	600	544	90.7%
標準偏差	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5.スポーツ・アウトドア用品			8.図書			11.日用品					
	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率	展示数(個)	引取数(個)	引取率			
回答数	1	2	1	2	3	2	1	1	1			
平均値	10	6	100%	453	299	72%	15	15	100%			
最大値	10	10	100%	900	491	100%	15	15	100%			
最小値	10	2	100%	5	5	44%	15	15	100%			
標準偏差	-	6	-	632.9	258.4	39%	-	-	-			

4-5-4-12 引き取られなかったリユース品の処分方法

引き取られなかったリユース品の処分方法を品目別に集計した物を表 4-22 に示す。なお、家具類に関する 2 つの「その他」はどちらも、「修理の際の材料として分解保管」という回答であった。

4-5-4-2 で示したように、廃棄物処理場と併設している場合が多いためか、廃棄物処理場にて処理される場合が多いことが分かる。

また、一度展示したら引き取られるまで展示するという施設も多いことが分かった。4-4-2 で実施したヒアリング調査の際にも、運営開始以来、一度も展示した物を廃棄したことはないと話されていた。展示品を決定する際に、引き取られそうな物だけを厳選して展示している施設もあると推測することもできる。

表 4-22 品目別の引き取られなかったリユース品の処分方法

	家具	調理・キッチン用品	自転車	衣類	スポーツ・アウトドア用品	楽器
廃棄物処理場にて処理	11	8	5	4	6	6
他の業者や団体に委託	1	0	1	2	0	0
引き取られるまで展示	12	4	14	2	4	3
その他	2	0	0	0	0	0
	玩具	図書	ベビー用品	家電製品	日用品	文房具
廃棄物処理場にて処理	5	8	7	3	7	6
他の業者や団体に委託	0	0	0	0	0	0
引き取られるまで展示	3	2	5	2	2	1
その他	0	0	0	0	0	0

4-5-4-13 利用者の意見把握について

利用者の意見把握に努めているかどうかに対する回答を表 4-23 に示す。40.7%の施設で利用者の意見把握に努めていることが分かった。

表 4-23 利用者の意見把握に努めているか (n=27)

	努めている	行っていない
回答数	11	16
割合	40.7%	59.3%

施設が把握している利用者の意見を表 4-24 に示す。大きく分けてリユース品に対する要望と施設運営に対する要望があることが分かる。

リユース品に対する要望では、品目の増加やリユース品の展示数の増加を求める声があることから、利用者が欲しいリユース品が施設に不足している現状も考えられる。

また、施設に対する要望では、開館日、開館時間に対する要望が目立つ。現状の開館状況では、利用者が利用しにくい状況にあると考えられる。このような状況は、リユース施

設の目的の達成が困難になることが危惧される。

表 4-24 利用者の意見一覧 (n=10)

回答結果	筆者による分類
販売点数を増やして欲しい、 着物を展示して欲しい(2施設)	リユース品に対する意見
家電製品の取り扱い 捨てるにはもったいないと感じているものを、再利用していただけるとありがたい。	
開場時間を延長して欲しい。日曜日もあけて欲しい。 土・日、祭日を閉館してほしいなどの意見	施設に対する意見
立地が悪い	
返品などは原則不可になっているが、もう少し柔軟に対応して欲しい。 子どもも参加できるものがあつたらよい	

4-5-4-14 リユース施設の今後について

本項では、リユース施設の今後について、リユース施設の課題点とリユース施設の存続の意志に分けて考察する。

4-5-4-14-1 リユース施設の課題点

リユース施設に聞いた施設の課題点を表 4-25 にまとめた。

リユース品の不足や利用者の減少、財政面での課題はある程度想定できたが、販売後の問題などは予測していなかった問題である。販売後のトラブルを削減するためには、引渡し時の説明の強化などを早急に取り組む必要があると考えられる。

表 4-25 リユース施設の課題点(n=20)

回答結果	筆者による分類
利用者数の低迷 利用者の減少傾向(2施設)	利用者の減少
若年層の利用促進	
販売した自転車が盗難に遭った場合の所有者証明に要する事務に追われる。 販売した自転車の販売後の不具合や不満など、販売者からの問い合わせが増加している。	販売後の問題
施設の老朽化(予算不足)(2施設) 環境啓発に取り組むためには、財政的な問題が発生すること 一部の行政関係者に費用対効果を求める考えもある	財政面の課題
施設維持費等、ランニングコストが高い(2施設)	リユース品の不足
提供品の不足 品物の確保	
ゴミとして排出されたものを供給しているため、安定した供給が困難 当施設は、ボランティアの協力によりリユースを実施しているため人材の確保に苦慮 新焼却場建設のため、現在リユース品を展示しているリサイクル館が今年中に解体となるため、新たな展示場所を検討中である。	リユース施設運営上の問題
リユース品の保管・展示スペースの確保	
空調や修理用の器具がないなどの設備不足 新規リサイクル事業の企画、実施	
時代の推移とともに、取組み内容を検討・工夫する時期に来ている 利用者がアクセスしにくい	その他

4-5-4-14-2 リユース施設の存続の意志

リユース施設も継続させるか廃止も検討しているかの結果を表 4-26 に、継続する理由を

表 4-27 に示す。なお、継続する理由のその他はどれも環境啓発の実践という内容であり、廃止を検討する理由は、「リユース品の不足」という回答であった。

リユース施設を継続する理由は、利用者の満足度があることが一番多くの施設で回答があった。しかし、ゴミ処理コストにつながっていること環境啓発の意味という回答も比較的多いため、リユース施設としての目的を達成できていると実感している施設が多く存在するのだと考えられる。

表 4-26 リユース施設を継続させるか (n=27)

	継続	廃止を検討
回答数	26	1
割合	96.3%	3.7%

表 4-27 リユース施設を継続させる理由 (複数回答可)

	1.ゴミ処理コストの削減につながっている	2.利用者 に一定の満足度がある	3.その他
回答数	10	14	8

4-6 まとめ

第四章では、リユース施設の運営実態の詳細を、ヒアリング調査と本アンケート調査に基づいて把握した。その結果を以下にまとめる。

1) ヒアリング調査で把握できたこと

- ①家電製品については、故障の確認が難しいため取り扱われにくい。
- ②新生活に伴う引越しに関係する利用が多いため、4月、10月の利用が多い。
- ③プラスチック製の衣装ケースが人気である。

2) リユース施設の全体傾向について

- ①約 63%の施設が、廃棄物処理場に併設されている。
- ②2013 年度は 1 施設あたり平均年間約 2.6 万人が来場している。
- ③2013 年度の 1 施設あたり平均施設運営費は、5184819 円だった。
- ④2013 年度は 1 施設あたり平均約 23 トンが展示され、約 19 トンが利用者に引き取られた。
- ⑤提供方法は、有料で手を加える場合が 43.3%で最も高い。

3) 有料で手を加えているリユース施設について

- ①有料で手を加えているリユース施設の多くで展示されている上位 2 品目は、家具 (92.3%)、自転車 (76.9%) である。

- ②上位 2 品目の引き取り率は、家具が 84.5%、自転車^①が 97.2%である。
 - ③上位 2 品目の平均価格は、家具が 1740 円、自転車^①が 4640 円である。
- 4) 有料で手を加えていないリユース施設について
- ①有料で手を加えていないリユース施設の多くで展示されている上位 2 品目は、日用品 (100%)、調理・キッチン用品 (75.0%) である。
 - ②上位 2 品目の平均価格は、日用品が 225 円、調理・キッチン用品が 196 円である。
- 5) 価格決定・有料販売のための資格について
- ①価格決定には、施設が決定する場合、委託者が決定する場合、利用者が決定する場合の 3 種類ある。
 - ②施設が決定する場合には、一律で決められる場合と市場価格などを参考にして決められる場合がある。
 - ③基本的に有料提供であっても資格などは不要である。
 - ④一部の施設で、自転車整備士の資格を必要としている。
- 6) 無料で手を加えているリユース施設について
- ①無料で手を加えているリユース施設の多くで展示されている上位 2 品目は、家具 (100%)、自転車 (81.8%) である。
 - ②上位 2 品目の引き取り率は、家具が 94.5%、自転車^①が 95.7%である。
- 7) 無料で手を加えていないリユース施設について
- ①無料で手を加えていないリユース施設の多くで展示されている上位 3 品目は、家具 (50.0%)、調理・キッチン用品 (50.0%)、図書 (50%) である。
 - ②上位 3 品目の引き取り率は、家具が 95.2%、調理・キッチン用品が 97.0%、図書が 72.0% である。
- 8) 引き取られなかったリユース品について
- ①引き取られるまで展示される施設も多くあり、展示品を選ぶ際に厳選していることも推測できる。
 - ②廃棄物処理場で処理している場合も多くある。
- 9) 利用者の意見把握について
- ①40.7%のリユース施設が利用者の意見把握に努めている。
 - ②リユース品に対する意見とリユース施設に対する意見がある。

③リユース品に対する意見には、「提供品数を増やしてほしい」、「提供品目を増やしてほしい」などがある。

④リユース施設に対する意見では、「開館時間を延長してほしい」、「返品などに柔軟に対応してほしい」などがある。

10) リユース施設の今後について

①リユース施設の問題点には、利用者の減少、リユース品の不足、財政面の課題、販売後の問題、リユース施設運営上の問題がある。

②96.3%のリユース施設が継続させると答えている。

③リユース施設を継続させる理由には、「ごみ処理コストの削減になっている」、「利用者に一定の満足度がある」、「環境啓発になっている」がある。

第五章では、第四章などで得たデータを活用して分析を行い、施設運営指標に及ぼす要因を見出す。

第五章 行政主体のリユース施設の施設運営指標に及ぼす要因の分析

5-1 はじめに

第五章では、リユース施設への本アンケートで得られた結果から、施設運営指標に及ぼす要因を見出す。

5-2 本章の目的

本アンケート結果のリユース施設のデータについて、要因と考えられるさまざまなデータを、施設運営指標との関係を見出すことを目的とする。

5-3 分析方法

事例数が少ないため、重回帰分析でなく、相関比あるいは単相関係数の検定により分析を行った。

5-4 施設運営指標に及ぼす要因の分析

5-4-1 施設運営指標と要因について

施設運営指標を引き取り率、引き取り数、来場者数とした。引き取り率と引き取り数については、リユースは引き取られて初めて成立するため、施設運営指標になると考えた。また、来場者数については、来場者が来なければ、引き取りもできないため、施設運営指標になると考えた。なお、これらの運営指標のデータは、第四章で行った本アンケート調査の回答を用いた。

要因については、経費、展示数、来場者数、人口、提供方法、有料か無料か、手を加えているか手を加えていないか（以下、手有か手無）、延床面積として分析を行った。なお、経費、展示数、来場者数、提供方法、有料か無料か、手有か手無については、第四章で行った本アンケート調査の回答を用いた。人口については、総務省統計局の2010年度の国勢調査の結果¹⁾を用いた。延床面積に関しては、第三章で行った予備アンケート調査の回答結果を用いた。

5-4-2 施設運営指標と要因の単相関係数と相関比

施設運営指標と要因間の単相関係数についてまとめたものを表 5-1 に、相関比についてまとめたものを表 5-2 に示す。

表 5-1 施設運営指標と要因間の単相関係数

	引き取り率	引き取り数	来場者数
経費	-0.2769(n=16)	0.2086(n=20)	0.0579(n=20)
展示数	0.0372(n=22)	0.9912**(n=22)	-0.1556(n=18)
来場者数	-0.2553(n=19)	0.3469(n=23)	
人口	-0.1079(n=22)	0.1237(n=27)	-0.1721(n=25)
延床面積	0.1608(n=19)	0.4213*(n=23)	0.1149(n=19)

** : 1%有意 * : 5%有意

表 5-2 施設運営指標と要因間の相関比

	引き取り率	引き取り数	来場者数
提供方法	0.1299(n=23)	0.1015(n=27)	0.0762(n=25)
有料且つ手有	81.9%(n=12)	5241個(n=12)	31246人(n=10)
有料且つ手無	99.2%(n=1)	75個(n=1)	6304人(n=2)
無料且つ手有	89.7%(n=7)	12448個(n=11)	30002人(n=11)
無料且つ手無	75.6%(n=3)	1191個(n=3)	2904人(n=2)
有料か無料か	0.0548(n=23)	0.0365(n=27)	0.0003(n=25)
有料	83.3%(n=13)	4844個(n=13)	27089人(n=12)
無料	90.1%(n=10)	10036個(n=14)	25833人(n=13)
手有か手無か	0.0836(n=23)	0.0414(n=27)	0.755(n=25)
手有	84.3%(n=19)	8688個(n=23)	30594人(n=21)
手無	95.3%(n=4)	912個(n=4)	4604人(n=4)

展示数と引き取り数との間には強い相関が有意水準 1%で認められたが、展示数が多ければ引き取り数も必然的に増えることになり、施設運営指標に効果的に及ぼす要因とは認めにくい。また、延床面積についても引き取り数との相関関係が有意水準 5%で認められたが、こちらも展示施設が広ければ、展示数が増え引き取り数が増加すると考えられるので、施設運営指標に効果的に及ぼす要因とは認めにくい。

その他については、統計的に有意な結果を得ることができなかった。これはサンプル数が少ないことも原因の一つであると考えられる。しかしながら、表 5-3 に示す施設運営指標と要因の関係については、単相関係数が比較的大きい（絶対値 0.3 以上）であることや、平均値の差が比較的大きいことから検証する必要があると考える。なお、これらの検証結果は 5-4-3 以降に示す。

表 5-3 検証すべき施設運営指標と要因の関係

施設運営指標	要因
引き取り数	来場者数
	有料か無料か
	手有か手無か
引き取り率	有料か無料か
	手有か手無か
来場者数	手有か手無か

また、品目の違いが関係しているのかと考え、多くの施設で取り扱われている家具に限定し、同様の分析を行った。その結果を表 5-4 と表 5-5 に示す。

表 5-4 施設運営指標と要因間の家具に限定した単相関係数

	引き取り率	引き取り数
経費	-0.6753*(n=10)	0.3225(n=12)
来場者数	0.1591(n=13)	-0.0607(n=16)
人口	-0.5609*(n=15)	0.0118(n=18)

** : 1%有意 * : 5%有意

表 5-5 施設運営指標と要因間の家具に限定した相関比

	引き取り率	引き取り数
提供方法	0.1701(n=15)	0.2871(n=18)
有料且つ手有	84.5%(n=8)	669個(n=9)
有料且つ手無	100%(n=1)	41個(n=1)
無料且つ手有	94.5%(n=5)	340個(n=6)
無料且つ手無	95.2%(n=1)	67個(n=2)
有料か無料か	0.0921(n=15)	0.1500(n=18)
有料	86.3%(n=9)	607個(n=10)
無料	94.6%(n=6)	271個(n=8)
手有か手無か	0.0543(n=15)	0.1701(n=18)
手有	88.4%(n=13)	537個(n=15)
手無	97.6%(n=2)	61個(n=3)

家具に限定した場合については、経費と引き取り率、人口と引き取り率に負の相関関係が5%有意で認められた。しかし、これは、経費がリユース品の回収や処理時にかけられており、手を加えるための費用ではないことが考えられる。また、人口と引き取り率の関係においても、人口が多ければ多いほど展示するリユース品が多くなり、引き取り率が減少することも考えられる。そのため、施設運営指標に効果的に及ぼす要因とは認めにくい。

他の指標については、サンプル数が少なかったこともあってか、統計的に有意とはなら

なかったがしかし、引き取り数に経費が与える影響については、相関係数が0.3以上であり、全体でも0.21（表5-1）とやや大きいことから検証する必要があると考えられる。

よって、次節以降では、表5-3に示した施設運営指標と要因の関係、及び引き取り数に経費が与える影響について検証する。

5-4-3 引き取り数に影響を及ぼす要因の検証

5-4-3-1 引き取り数に来場者数が及ぼす影響

来場者数と引き取り数の関係について検証するため、全体の散布図を図5-1、家具に限定した場合の散布図を図5-2に示す。

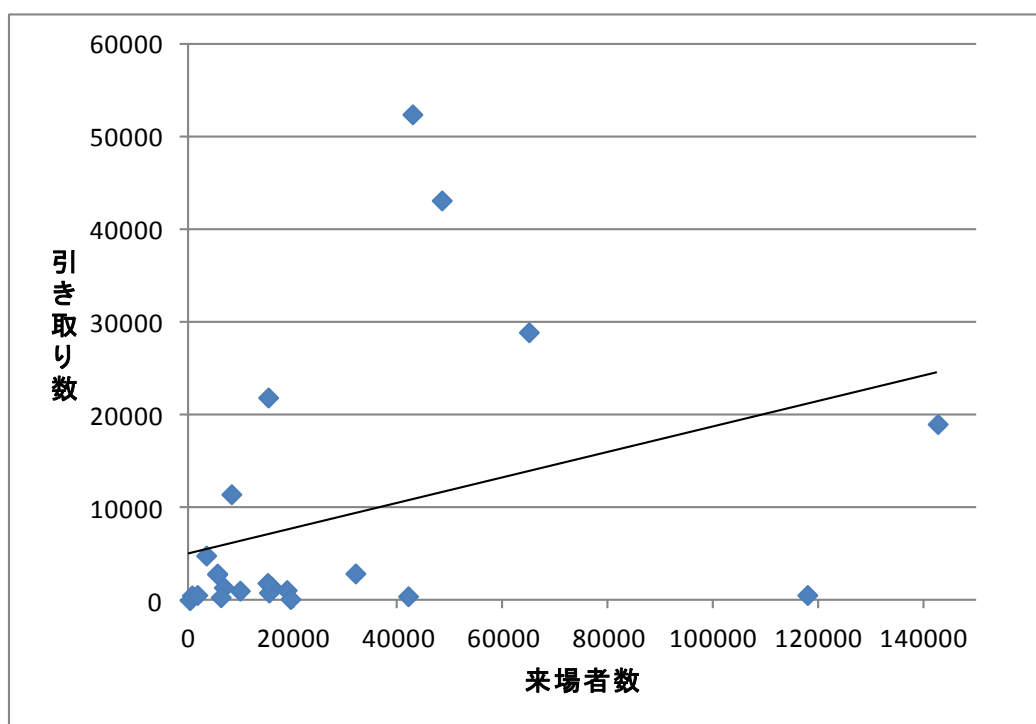


図5-1 引き取り数と来場者数について全体の散布図

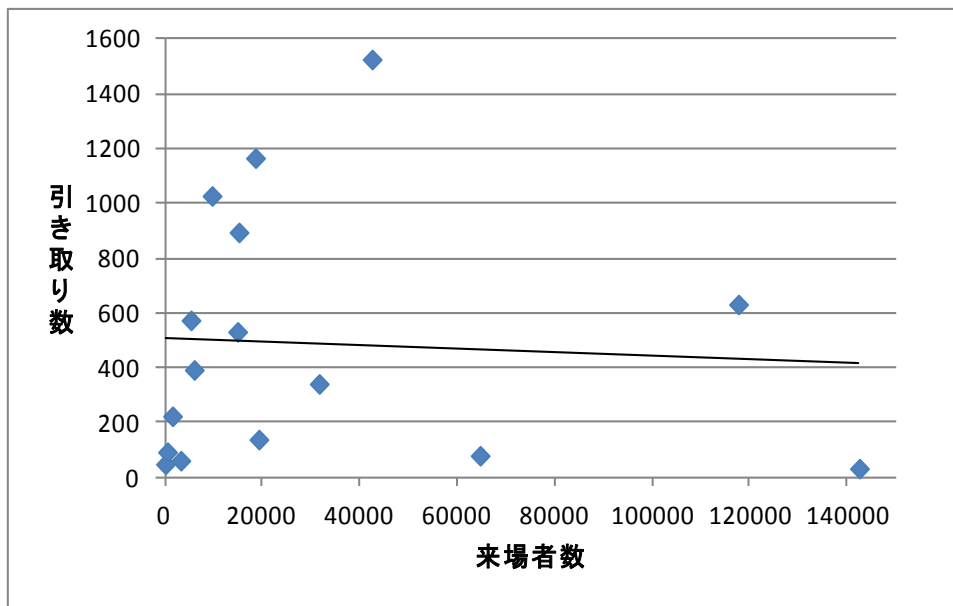


図 5-2 引き取り数と来場者数について家具に限定した場合の散布図

図 5-1 及び図 5-2 よりどちらも回帰直線から離れており、ばらつきが大きいことが分かる。よって、来場者数は引き取り数に影響を及ぼす要因とは考えにくい。

5-4-3-2 引き取り数に有料か無料かが及ぼす影響

有料か無料かと引き取り数の関係について検証するため、全体のカテゴリ別平均と標準偏差を表 5-6 に、誤差グラフを図 5-3 に示す。なお、誤差グラフに示した誤差範囲は、標準偏差を試行回数の平方根で除して求められる標準誤差に基づいて表示した（以下同様）。また、家具に限定した場合のカテゴリ別平均と標準偏差を表 5-7 に、誤差グラフを図 5-4 に示す。

表 5-6 有料か無料かと引き取り数について全体のカテゴリ別平均と標準偏差

有料or無料	施設数	平均値	標準偏差
有料	13	4844.1	14349.5
無料	14	10036.4	13375.7
全体	27	7536.4	13837.6

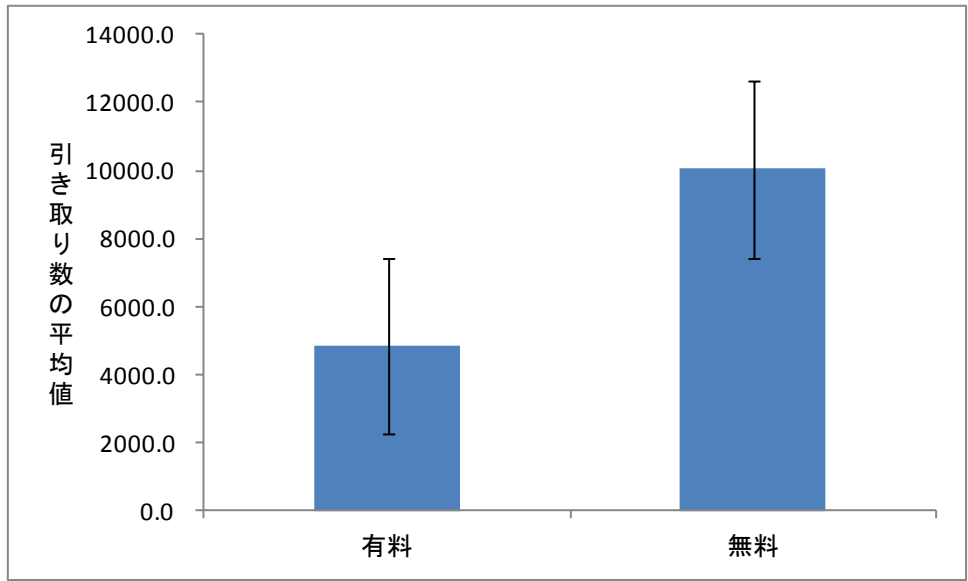


図 5-3 有料か無料かと引き取り数について全体の誤差グラフ

表 5-7 有料か無料かと引き取り数について家具に限定したカテゴリ別平均と標準偏差

有料or無料	施設数	平均値	標準偏差
有料	10	606.9	485.2
無料	8	271.3	320.2
全体	18	457.7	443.1

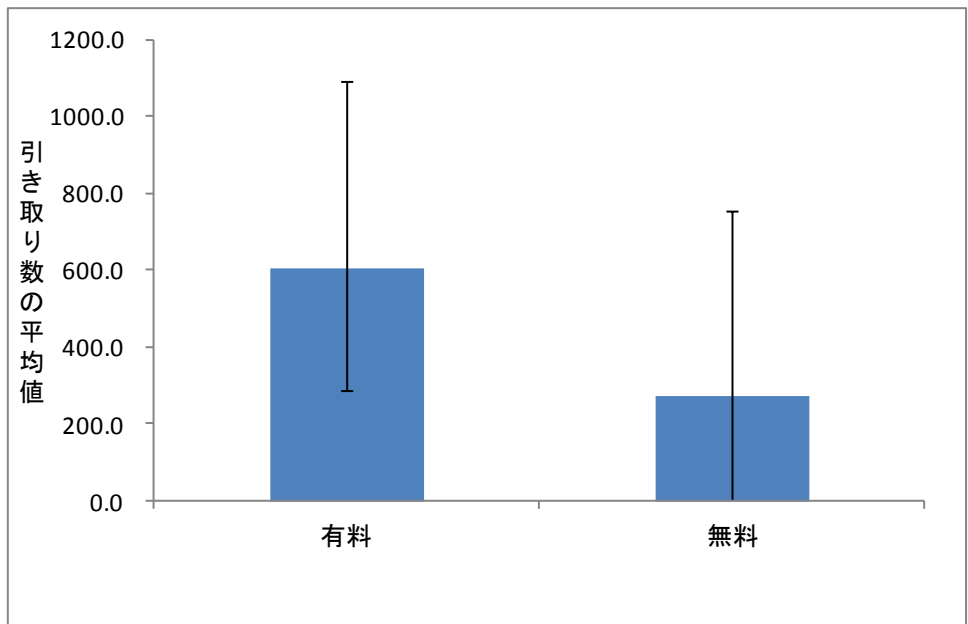


図 5-4 有料か無料かと引き取り数について家具に限定した誤差グラフ

表 5-6, 図 5-3 より, 全体については, 無料であることが引き取り数を増加させる傾向にあることが推察できる. 比較的誤差範囲も小さいため, 無料であることが引き取り数増加に寄与していると考えられる.

一方, 家具に限定した場合, 表 5-7, 図 5-4 より, 有料であるほうが引き取り数を増加しているという結果になった. しかし, 誤差範囲が大きいことから, バラつきが大きいということになり, 引き取り数に影響を及ぼす要因とは考えにくい.

よって, 無料であることが引き取り数を増加させる要因となると推察する.

5-4-3-3 引き取り数に手を加えているか手を加えていないかが及ぼす影響

手有か手無かと引き取り数の関係について検証するため, 全体のカテゴリ別平均と標準偏差を表 5-8 に, 誤差グラフを図 5-5 に示す. また, 家具に限定した場合のカテゴリ別平均と標準偏差を表 5-9 に, 誤差グラフを図 5-6 に示す.

表 5-8 手を加えているか手を加えていないかと引き取り数について全体のカテゴリ別平均と標準偏差

手有or手無	施設数	平均値	標準偏差
手有	23	8688.4	14719.7
手無	4	912.3	1379.9
全体	27	7536.4	13837.6

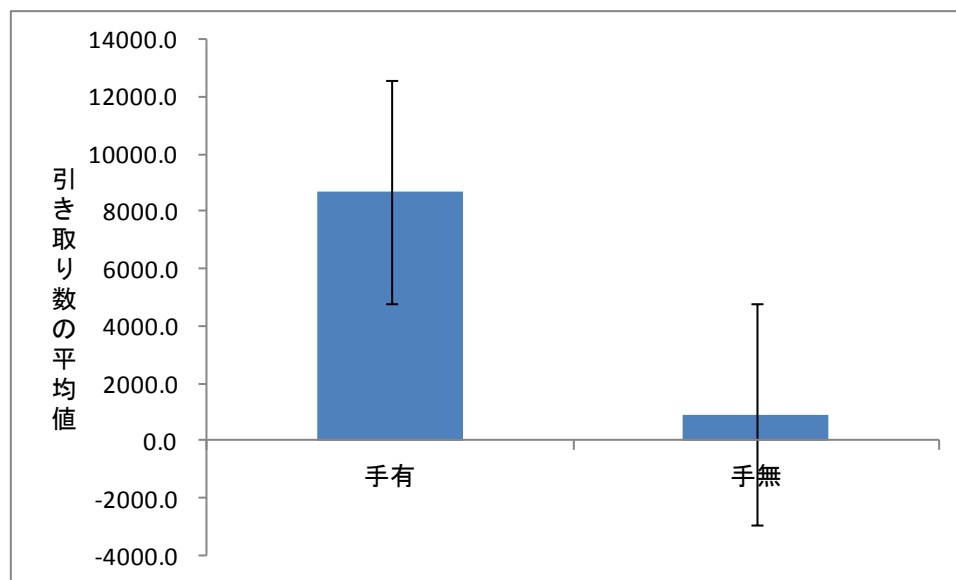


図 5-5 手を加えているか手を加えていないかと引き取り数について全体の誤差グラフ

表 5-9 手を加えているか手を加えていないかと引き取り数について家具に限定したカテゴリ

り別平均と標準偏差

手有or手無	施設数	平均値	標準偏差
手有	15	537.1	444.7
手無	3	60.7	28.4
全体	18	457.7	443.1

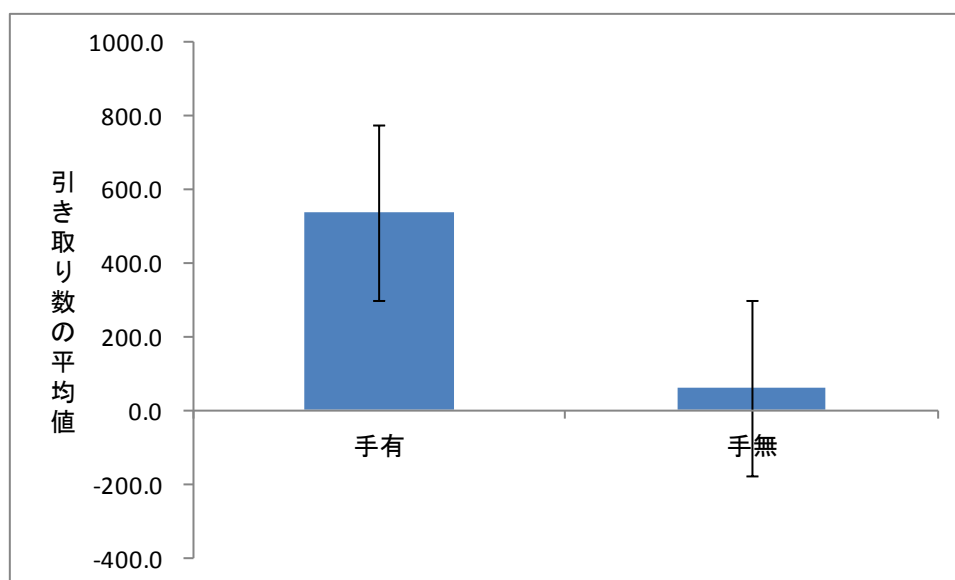


図 5-6 手を加えているか手を加えていないかと引き取り数について家具に限定した誤差グラフ

表 5-8, 図 5-5, 表 5-9, 図 5-6 より手有の方が引き取り数が増加する傾向にあることが分かる。よって、検証結果としては、手有の方が引き取り数を増加させる可能性が高いとする。

5-4-3-4 引き取り数に経費が及ぼす影響

経費と引き取り数の関係について検証するため、全体の散布図を図 5-7, 家具に限定した場合の散布図を図 5-8 に示す。

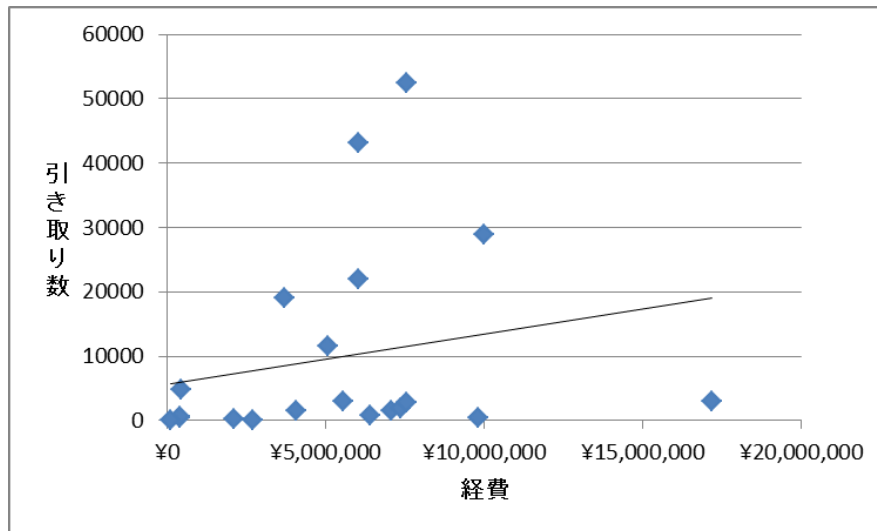


図 5-7 引き取り数と経費について全体の散布図

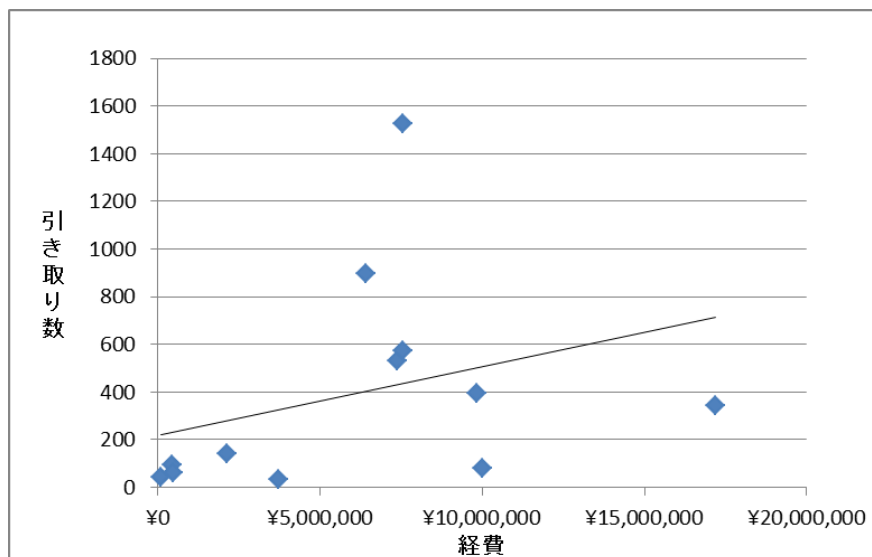


図 5-8 引き取り数と経費について家具に限定した散布図

図 5-7 及び図 5-8 より、どちらも回帰曲線から離れており、ばらつきが大きいことが分かる。よって、経費は引き取り数に影響を及ぼす要因とは考えにくい。

5-4-4 引き取り率に影響を及ぼす要因の検証

5-4-4-1 引き取り率に有料か無料かが及ぼす影響

有料か無料かと引き取り率の関係について検証するため、全体のカテゴリ別平均と標準偏差を表 5-10 に、誤差グラフを図 5-9 に示す。また、家具に限定した場合のカテゴリ別平均と標準偏差を表 5-11 に、誤差グラフを図 5-10 に示す。

表 5-10 有料か無料かと引き取り率について全体のカテゴリ別平均と標準偏差

有料or無料	施設数	平均値	標準偏差
有料	13	83.3%	15.7%
無料	10	90.1%	13.2%
全体	23	86.3%	14.8%

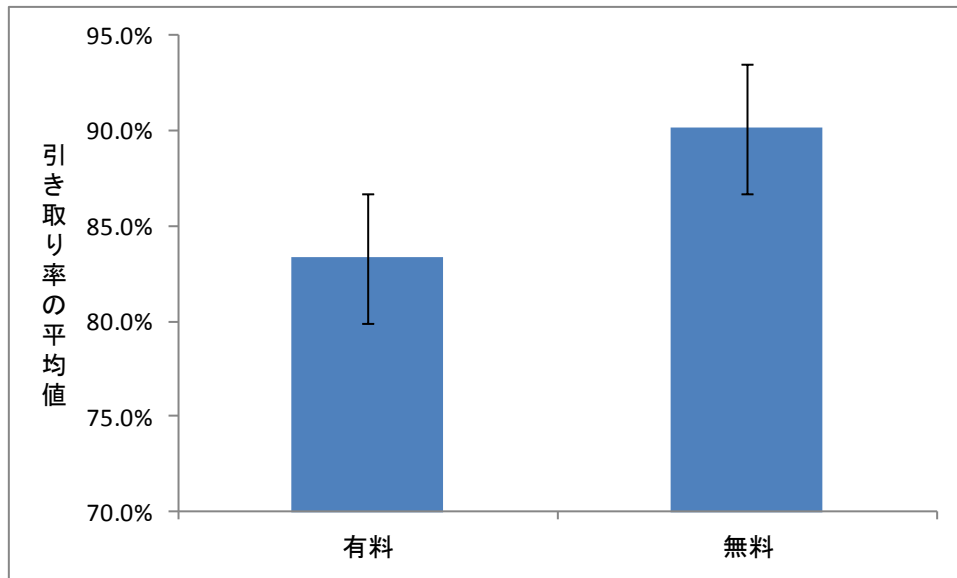


図 5-9 有料か無料かと引き取り率について全体の誤差グラフ

表 5-11 有料か無料かと引き取り率について家具に限定したカテゴリ別平均と標準偏差

有料or無料	施設数	平均値	標準偏差
有料	9	86.3%	16.8%
無料	6	94.6%	6.7%
全体	15	89.6%	14.0%

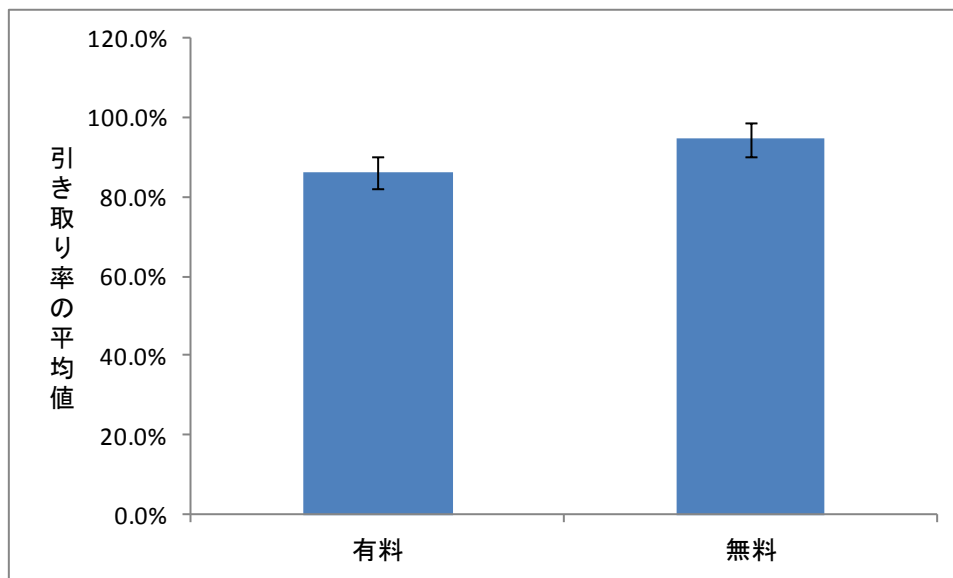


図 5-10 有料か無料かと引き取り率について家具に限定した誤差グラフ

表 5-10, 図 5-9, 表 5-11, 図 5-10 より, 無料であることが引き取り率を増加させる傾向にあることが推察できる. 比較的誤差範囲も小さいため, 無料であることが引き取り率増加に寄与していると考えられる.

5-4-4-2 引き取り率に手を加えているか手を加えていないかが及ぼす影響

手有か手無かと引き取り率の関係について検証するため, 全体のカテゴリ別平均と標準偏差を表 5-12 に, 誤差グラフを図 5-11 に示す. また, 家具に限定した場合のカテゴリ別平均と標準偏差を表 5-13 に, 誤差グラフを図 5-12 に示す.

表 5-12 手を加えているか手を加えていないかと引き取り率について全体のカテゴリ別平均と標準偏差

手有or手無	施設数	平均値	標準偏差
手有	19	84.4%	15.4%
手無	4	95.4%	6.5%
全体	25	86.3%	14.8%

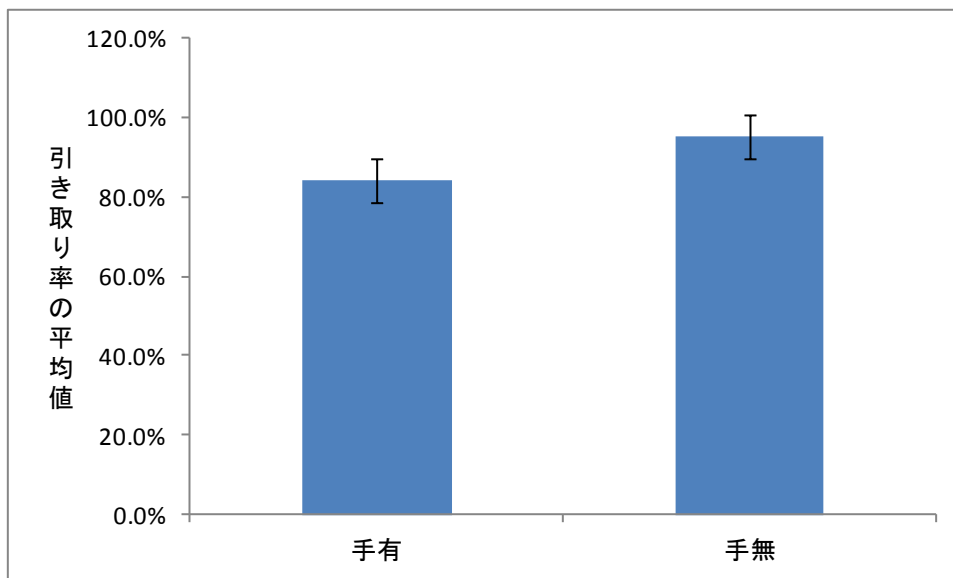


図 5-11 手を加えているか手を加えていないかと引き取り率について全体の誤差グラフ

表 5-13 手を加えているか手を加えていないかと引き取り率について家具に限定したカテゴリ別平均と標準偏差

手有or手無	施設数	平均値	標準偏差
手有	13	88.4%	14.6%
手無	2	97.6%	3.4%
全体	15	89.6%	14.0%

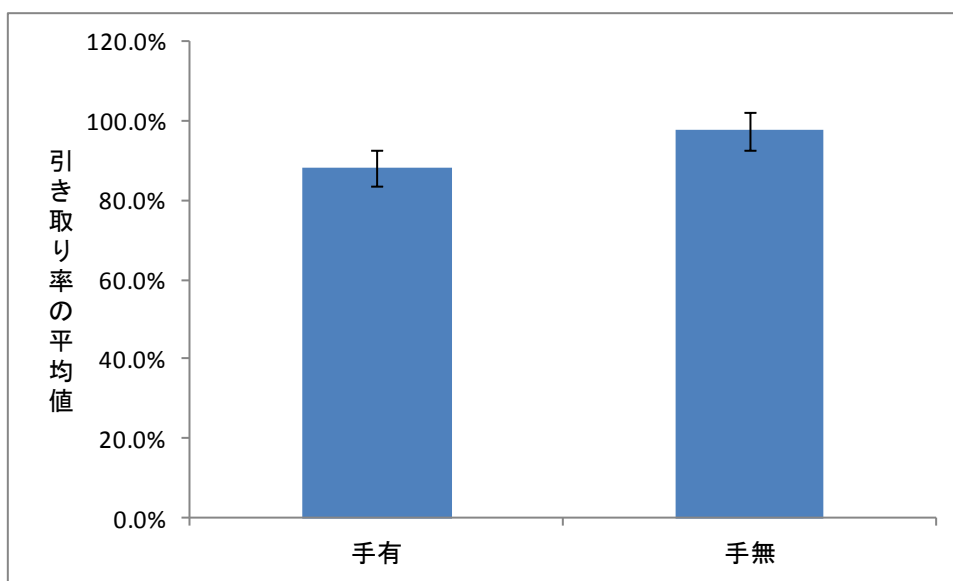


図 5-12 手を加えているか手を加えていないかと引き取り率について家具に限定した誤差

グラフ

表 5-12, 図 5-11, 表 5-13, 図 5-12 より, 手無であることが引き取り率を増加させる傾向にあることが推察できる. 比較的誤差範囲も小さいため, 手無であることが引き取り率増加に寄与していると考えられる.

5-4-5 来場者数に影響を及ぼす要因の検証

5-4-5-1 来場者数に手を加えているか手を加えていないかが及ぼす影響

手有か手無かと来場者数の関係について検証するため, カテゴリ別平均と標準偏差を表 5-14 に, 誤差グラフを図 5-13 に示す.

表 5-14 手を加えているか手を加えていないかと来場者数についてのカテゴリ別平均と標準偏差

手有or手無	施設数	平均値	標準偏差
手有	21	30594.8	37208.4
手無	4	4604	5798.1
全体	25	26436.2	35390.6

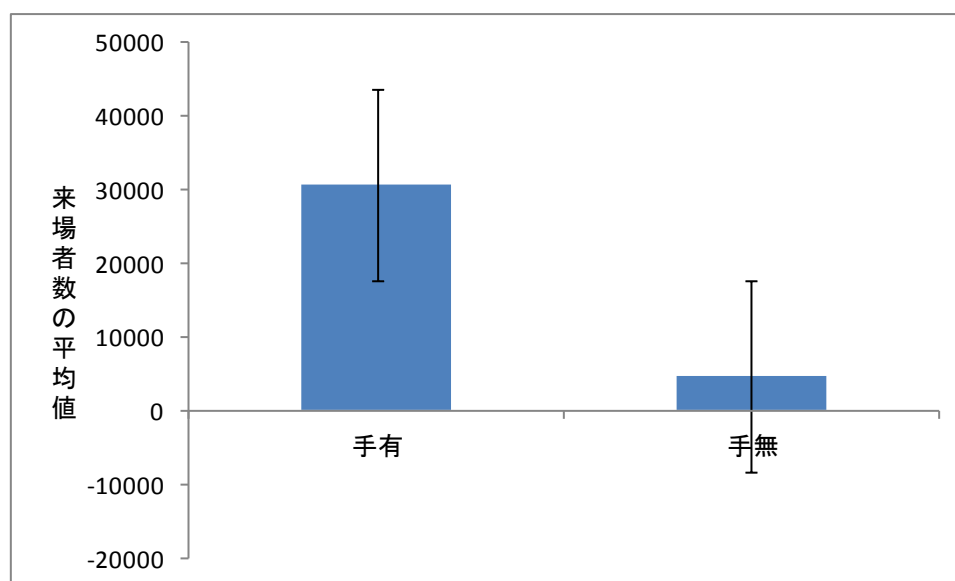


図 5-13 手を加えているか手を加えていないかと来場者数についての誤差グラフ

表 5-14, 図 5-13 より手有の方が来場者数が増加する傾向にあることが分かる. しかし, 誤差範囲が大きいことから, バラつきが大きいということになり, 手有か手無かは来場者数に影響を及ぼす要因とは考えにくい.

5-5 まとめ

第五章では、リユース施設について、第四章などで得たデータを活用して分析を行い、施設運営指標に及ぼす要因を見出し、分析した。その結果を以下の通りに把握した。

1) 全体の分析について

- ① サンプル数が少ないためか、施設運営指標に効果的に影響を与える要因との関係は認められなかった。
- ② 以下の関係については、相関係数が 0.3 を超えていることや平均値の差が大きいことから検証する必要がある。
 - ・ 引き取り数と来場者数
 - ・ 引き取り数と有料か無料か
 - ・ 引き取り数と手有か手無か
 - ・ 引き取り数と経費
 - ・ 引き取り率と有料か無料か
 - ・ 引き取り率と手有か手無か
 - ・ 来場者数と手有か手無か

2) 引き取り数に影響を及ぼす要因の検証（表 5-15 参照）

- ① 来場者数は引き取り数に影響を及ぼさないと考えられる。
- ② 無料であることが引き取り数を増加させる傾向がある。
- ③ 手有の方が引き取り数を増加させる傾向にある。
- ④ 経費は引き取り数に影響を及ぼさないと考えられる。

3) 引き取り率に影響を及ぼす要因の検証（表 5-15 参照）

- ① 無料であることが引き取り率を増加させる傾向にある。
- ② 手無であることが引き取り率を増加させる傾向にある。

4) 来場者数に影響を及ぼす要因の検証（表 5-15 参照）

- ① 手有か手無かは来場者数に影響は及ぼさないと考えられる。

表 5-15 施設運営指標に影響を及ぼす要因の検証結果

施設運営指標	要因
引き取り数	来場者数
	有料か無料か
	手有か手無か
	経費
引き取り率	有料か無料か
	手有か手無か
来場者数	手有か手無か

※色付きが施設運営指標に影響を及ぼす傾向が認められた要因

これらの結果をもとに、第六章では手有か手無について追加アンケートを行い、詳しく追及する。また、手有の施設及び無料の施設の費用発生段階を把握する。その上で、第七章では結論を導く。

<参考文献>

- 1) 統計局ホームページ-国勢調査<<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/>>2014-12-14

